

## 2023年度 第1回 豊岡市子ども・子育て会議 議事要旨

日時 2023年8月25日（金） 13時31分～15時32分  
場所 豊岡市役所 大会議室  
出席者（委員） 水落会長、曾根副会長、森井委員、森本委員、小山委員、鈴木委員、戸田委員、永田委員、佛生委員  
（事務局） 永井部長、若森課長、佐伯参事、澤口主幹、森口係長、大岸主任、恵後原課長、鳥居所長、道下主幹、中村主幹、吉本課長、河本参事、三輪参事、仲義課長補佐、谷垣主幹、磯係長

欠席者（委員） 山本委員、田中委員、菱沼委員、水嶋委員、西垣委員

- 会議次第
- 1 開会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 委員の任命（辞令交付）
  - 4 委員自己紹介 資料1
  - 5 副会長選出
  - 6 豊岡市子ども・子育て会議の概要 資料2、別冊資料
  - 7 議事
    - (1) 報告
      - ア 児童数について 資料3
      - イ 幼稚園・保育所・認定こども園の利用状況について 資料4-1～2
      - ウ 放課後児童クラブの利用状況等について 資料5
      - エ 地域子ども・子育て支援事業の取組状況について 資料6
      - オ こども・若者、子育て家庭を取り巻く状況について 資料7-1～7
    - (2) 協議
      - ア 豊岡市のこどもに関する計画について 資料8-1～3
    - (3) 意見交換
  - 8 その他
    - (1) 次回の会議日程
    - (2) その他
  - 9 閉会

配布資料	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span>	豊岡市子ども・子育て会議委員名簿
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-1</span>	豊岡市子ども・子育て会議の概要
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-2</span>	豊岡市子ども・子育て会議条例
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span>	豊岡市子ども・子育て会議傍聴要綱
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span>	児童数の推移
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4-1</span>	幼稚園の入園状況
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4-2</span>	保育所・認定こども園の入園状況

資料5	放課後児童クラブの利用状況等
資料6	地域子ども・子育て支援事業の取組状況
資料7-1	こども・若者、子育て家庭を取り巻く状況
資料7-2	豊岡市政策モニタリング調査から見える課題
資料7-3	豊岡市乳幼児健診時アンケートから見える課題
資料7-4	豊岡市の出生数とサポートを必要とする家庭数の推移
資料7-5	豊岡市の年齢別人口の推移と将来推計
資料7-6	豊岡市のひとり親家庭の状況
資料7-7	豊岡市の児童虐待件数の推移
資料8-1	豊岡市のこどもに関する計画
資料8-2	こども大綱の枠組み
資料8-3	こども大綱のイメージ（「基本的な施策」関係）
参考資料1	認定区分について
別冊資料	第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画 第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画〈概要版〉 第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直し 豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画〈概要版〉

議事要旨

1	開会	開会の宣言（事務局）
2	会長あいさつ	会長あいさつ
3	委員の任命	辞令交付（机上配布）
4	委員自己紹介	自席にて自己紹介
5	副会長選出	委員の互選により、曾根委員を選出
6	会議の説明	子ども・子育て会議等の概要について説明
7	議事	
	(1) 報告	
	事務局	<p><b>ア 児童数について</b> <span style="float: right;">資料3</span></p> <p>（特に質問等なし。）</p>
	事務局	<p><b>イ 幼稚園・保育所・認定こども園の利用状況について</b> <span style="float: right;">資料4-1~2</span></p>
	会長	事務局の説明に対し、何か、質問等があるか。
	委員	保育所・認定こども園の資料は0～5歳児までの全ての年齢か。
	事務局	0～5歳児を分けずに全ての年齢の人数。
	会長	年齢別のデータがあると、幼稚園との比較も出来てよりわかりやすい。
	事務局	豊岡市の傾向として、0歳児は約3割、1～2歳児は約6割、3歳児は約7割、4、5歳児は100%に近い数字で入園されている。
	会長	幼稚園の入園状況は4、5歳児で年齢別に分かれているが、一方、保育所・認定こども園の資料は年齢別に何割が入園しているのかわからないので比較ができない、という委員の意見なので検討願いたい。
	事務局	<p><b>ウ 放課後児童クラブの利用状況等について</b> <span style="float: right;">資料5</span></p>
	会長	事務局の説明に対し、何か、質問等があるか。
		指導員の確保について教えてほしい。
	事務局	特に夏休み中は一日保育になるのでアルバイトの確保に苦慮している。帰省中の学生や芸術文化観光専門職大学の学生に声をかけ、アルバイトの確保に努めている。
	事務局	4月時点での園関係の施設への入所状況の情報を紹介したい。資料とは時点が違うので傾向としてご理解願いたい。4月1日時点で、0歳児は404名中55名13.61%、1歳児は462名中314名67.97%、2歳児は438名中320名73.06%、3歳児は516名中467名90.50%、4歳児は498名中487名97.79%、5歳児は566名中558名98.59%が入所している。これは幼稚園児も含めた数字で、平均すると76.32%の入所率となっている。特に0歳児は年度末へ向けてどんどん増えていくが、豊岡市全体として園関係の施設にどれだけ入所しているのかが参考程度にわかってもらえるのではないかと考え紹介した。
	事務局	<p><b>エ 地域子ども・子育て支援事業の取組状況について</b> <span style="float: right;">資料6</span></p>
	会長	事務局の説明に対し、何か、質問・意見があるか。資料もかなりあるので時間を取らせていただく。
	委員	2022年度の分析で、コロナにより利用数が減ったという分析がある。2023年

度以降は数字の見直しがなされているが、コロナ以前に戻ったときにこの見直し後の数字が妥当なのか。

事務局 もともとの計画は2019年度に作ったもので、コロナが発生したのが2020年の初めであり、計画にはコロナの影響は加味されていない。見直しは、昨年の夏に考えたものであり、今後コロナがどうなるのかは不透明な状況だった。

コロナからの回復具合により、事業によっては数字が上振れするものがあると考えている。ただ、多くの事業では、出生数の減少、児童全体の減少、在宅児童の減少など、コロナ以外の要因で数字を見直しており、その部分は、そのとおり推移すると考えている。

委員 大変詳しいデータがありがたい。子どもの育てられ方が、大きな課題と感じている。利用が少なかったところから見えてくる子育ての課題。

民生委員に聞いたのだが、乳児家庭全戸訪問事業、豊岡市では1回の訪問ということだが、放っておけない母親が約半数あったという課題が示されていた。その後のケアはどうか聞きたい。

小学生になったときに人に慣れていくところに大きな課題があつて、不登校が増えていっている実感があるが、そのあたりの考えを聞きたい。

事務局 乳児家庭全戸訪問事業については、民生委員に依頼しており、訪問してお母さんの心配事などの報告をもらっている。心配事がある場合は、その地区を担当している保健師が再訪問して、心配事の中身に応じて支援を継続している。お子さんの病気なら医療を紹介し、お母さんのサポートの必要度合いに応じて支援をしている。助産師も生後1か月以内に新生児訪問をしており、そのときにも、母子の体調を見ている。

その後、お子さんが大きくなるに応じて、必要な関係機関と連携しながら支援を継続している。

委員 ファミリーサポートセンター事業で、利用数が増えているのはとてもありがたい。助けてもらいながら子育てをすることで、市民みんなが、みんなで子育てしようという意識を高めることが、よりよい子育てに繋がっていくと思う。

委員 同感である。ファミサポが想定の倍以上に使われている。うちの園の保護者に使いにくい、敷居が高い、と言われたことがあり、私も調べて、使ってもらった経緯がある。どんどん使っているのに、保護者には構えるところがある。人からどう言われるだろうかとか。そのあたりはこちらも理解しながらサポートしないといけないと思った。市が努力してもらっているのはありがたい。

会長 対面でのサポートを保持しつつも、外国籍の家庭や、時間がなかなか取れない家庭へのサポートを考えると、時間と空間を排除したようなサポートが必要だろう。つまりオンラインで子育て相談業務をしていくようなシステムが大事ではと思う。ニュージーランドでは、このようなシステムが、多様な家族形態を考慮して発達しており、豊岡市も検討が必要と思われる。

事務局 コロナ禍もあり、オンラインで相談できる仕組みはあるが、豊岡市のお母さんは実際会って話したい方が多く、オンラインでの実績は伸びていない。

アイティ4階には、子育てなんでも相談室を開設している。平日昼間に限られるが、予約なしで保健師に相談できるので、利用者が伸びている。実際に訪問を受けた、顔が繋がった保健師を目指して相談に来られる事例も増えている。

会長 繋がりを求められる人はいい。一方、繋がりを持ってない人をどうサポートしていくかは今後の課題になっていくと思われる。繋がりたいけど繋がれない、行きたいけど行けない人、潜在的な見えない部分の家庭をどうサポートしていくか検討願いたい。

委員 21名の園児のうち2名の両親はフィリピン国籍である。両親は、英語が通じるか通じないかを気にしている。幼児育成課に英語が堪能な方がいるし、そのような部署を作っていると思う。いろんなところでそのあたりのサポートがあれば、もっと利用してもらえないかと思う。

委員 アイティ4階に子育てなんでも相談室ができて、子育てセンターを利用するついでに相談できる場ができた。

ただ、顔を合わしたくないが、もやもやした子育ての話を聞いてほしいとき、例えば、この間、娘がおしっここのところが痛いと言っていたが、これは病院に行くべきかどうなのか、ちょっと聞きたいと思ったときに、電話でどこに相談したらいいのかわからなかった。ホームページに子育て電話相談のような記載があるとありがたい。

事務局 こども未来課おやこ保健係に電話していただきたい。保健師が何かしらの対応ができる。そのあたりのアピールが足りなかった。わかりやすいように必要な方に必要な情報が届くように工夫をしたい。

委員 メールでも相談できればと思う。

委員 広報の裏のほうに、お母さんの110番が載っているページがある。私はそれを目につくところに貼ったり、ファイルに綴じたりしている。ホームページ以外でも広報に載せてもらえたら見てもらえるのではないかな。

会長 AIをホームページに組み込んで、チャットでこんな相談したいと入れると、ここに電話してくださいと返すホームページもあるので、豊岡市も今後踏み込んでいかないといけないかもしれない。

委員 今月号の広報をめくったら、全部書いてある。子育てなんでも相談室って書いてある。連絡先はないか。場所はアイティ4階。

会長 今後は、そのあたりも含めて、いかに利用者に関わりやすく情報を届けるかを検討していくということとしたい。

事務局 **オ こども・若者、子育て家庭を取り巻く状況について** **資料7-1~7**

会長 事務局の説明に対し、何か、質問・意見があるか。資料もかなりあるので時間を取らせていただく。

委員 資料7-7児童虐待件数、これは家庭内の件数か。

事務局 全て家庭内の件数。

会長 資料7-2について。回答者の属性を尋ねたい。何歳の子を持つ保護者なの

か、性別、父親が家事育児に参加しない話もあったので性別も影響するだろう。回答に偏りができるだろうから、属性について教えてほしい。

事務局 2023年度の回答平均値2.99の属性について答える。男性の平均は2.86、女性の平均は3.12、若干女性の評価のほうが高い。子どもの有り無しで分けると、有りが2.95、無しが3.01となっている。

会長 各年度で属性が異なるとデータに偏りが出てくるので、このあたりも検討願いたい。日高や但東が低下傾向にあること、出石が上昇傾向にあること、の要因についてわかれば教えてほしい。

事務局 地域によってでこぼこしている要因は不明。今後の分析が必要。

会長 自由記述を取るほうがいい、その回答をした意味とか。そのあたりがわかると、豊岡市としての子育ての課題が見えてくると思うので検討願いたい。

委員 児童虐待の件。家庭内の児童虐待はいろんな問題に発展する。小さい頃に虐待を受けた子は、再び受けることがある。半年で去年の件数を超えたことは、非常にショッキングだ。どのように分析しているのか。

この件数は、同じ子が2回受けても1件として数えるのか。

コロナ禍において家で養育しないといけない、第2子が生まれ、産後休暇で第1子が退園し、2人を1人の親が見ないといけないケースがたくさんある。国の施策だからしょうがない。親にとってはもの凄く負担になる。家で養育しないといけない、土日だけでも大変なのに一週間続くとかなりストレスが溜まる。そういったことに対して行政が手を差し伸べていかないといけない。どのような見解か尋ねる。

会長 3点上げてもらった。1つ目が、虐待人数が増加した理由。2つ目が、虐待の内情。3点目が、家庭の状況。事務局でわかる範囲で回答願いたい。

事務局 今年、虐待が急激に増えた理由は不明である。2015年から徐々に増えているのは、市民の目が行き届いたことや、通告する意識が高まったこともある。今年なぜ急に増えたのかはわからない。

ただ、先日、神戸で6歳の子が亡くなるいたましい事件があったので、みなさんの意識が高まって通告に繋がったのではないかと考えている。あくまで想像である。

同じ子が通告を受けるかどうか。年度をまたいだ場合、例えば2021年度に通告があって、こども支援課で対応している場合、そのまま家庭環境の改善が見られないなら2022年度も1人とカウントしている。

こども支援課で見守りをしていくなかで、なにかが起ったということになると虐待通告としてカウントしている。

コロナ禍の状況について。たしかに子と二人だけの時間が長くなるということで心配はしていた。すでに、こども支援課が関わりを持っている家庭では、定期的に家庭訪問を実施し、ストレスや心配事を聞いた事例もある。

たしかに、産後間もないお母さんが一週間以上、子の世話をするのは大変な思いだと思う。養育支援訪問の制度で、ヘルパーの手伝いを受けることもでき、

そのほかに、子育て家庭ショートステイも可能なので紹介している。

委員 虐待の件数が増えているなかで、家族の孤立が大きな課題である。今まではおじいちゃん、おばあちゃんと住むこともあるが、核家族が多くなったこと、子どもを助けてもらえる、すぐ見といてね、という関係が希薄になっている。どうしても自分の子を抱え込んでしまう、近所付き合いも希薄なので、周りの人も見えないという、こういった状況がどんどん増えていくと思う。

不登校、ひきこもりも同じようなところがあるが、孤立をなんとか早く発見して、大丈夫だよと言ってもらえる地域づくり、そのあたりに視点をおいた施策が、喫緊の課題ではないか。

あそこの家の問題だからといって介入しにくいというところが日本の文化としてあるが、そうではなくて、虐待もそうだが、大きな社会問題だと、その家のお母さんの責任ではないということ発信していただいて、地域の力を借りるような施策を講じていただけたらと思っている。

会長 虐待の通告件数が増えたことのメリットは地域の目が行き届いたことと考える一方で、虐待を事前に食い止める地域ネットワークのあり方を検討していないといけない、ということよろしいか。

ほかによろしいか。報告は以上とする。

## (2) 協議

事務局 **ア 豊岡市のこどもに関する計画について**

**資料 8-1~3**

会長 事務局の説明に対し、何か、質問・意見があるか。資料もかなりあるので時間を取らせていただく。

もし、こども計画を子ども・子育て会議で協議するとしたら、いろんな分野が必要になってくると思うので、委員を増やすとか、特に社会福祉関係に強い方を委員に加えることも必要だと思うので検討願いたい。

事務局 こども計画をどの会議で協議するのかは内部で検討中。この子ども・子育て会議でお世話になるとした場合は、不足する分野について、どなたかにお願いして増員が必要だと思うので、そのあたりを検討していきたい。

会長 協議事項 ア 豊岡市のこどもに関する計画について、原案どおりでよいか。

全委員 異議なし。

会長 異議なしとする。次に移る。

## (3) 意見交換

会長 保護者の皆様、関係機関や地域の方々などが集まっている。また、市役所の子ども・子育て支援関係部署も事務局として控えている。

せっかくの機会なので、豊岡市の子ども・子育て支援について、「現在行われている事業をこのように見直せないか?」「こんな施策を検討できないか?」など様々な意見交換をしたい。

委員 夏休みに子どもを見ていて、火曜日は、豊岡市の施設の休みが多く、図書館、こども広場も休みで、行くところがない。円山川公苑プールがあるが、熱中症

の心配もある。屋内の施設を、例えば、夏休み期間だけ、こども広場は水曜日を定休日にしてもらえたら行ける場所が増える。

こども広場でいうと、豊岡の小学校の運動会が9月の3連休で予定されているが、振替休日が火曜日。一番小学生が行けるときに、行ける施設が全くないのが非常にもったいない。その火曜日に開けてもらったとしても、どれだけ小学生が来るかは約束できないし、私が行かない可能性も十分ある。

行ける場所のひとつとして開けていただいたら助かる。こども広場は1人の親で子どもを5人連れていける。すごくありがたい。振替休日のときだけでも開けてもらえるとうれしい。

事務局 火曜日は、図書館や社会教育施設が休み、こども広場もアイティの休館日が火曜日だったことに合わせて休館日としている。頂戴した意見は認識しておく。

委員 幼稚園の閉園の計画が早まったらどうしようとドキドキして来た。私には小学3年生と年長児で幼稚園に通っている子がいる。今年3歳になる娘が五荘奈佐幼稚園に通う最後の園児になる予定。娘と同級生の子を持つ友達とも、幼稚園の閉園が早まってしまわないかと話しており、我が子を幼稚園に通わせたいという親はいる。物価も高くなっており、働くという選択肢もあるけど、ここに通わせたい思いもある。幼稚園が大好きな子どもがいることを知っておいてほしい。

事務局 貴重なご意見として承る。今の状況は、2030年度までのあり方計画を作り、再編を含めて計画を進めている。

今日、幼稚園の入園状況の報告をした。非常に厳しい園運営である。集団で過ごす必要性を考えねばならない。子ども同士の触れ合いのなかで育つものがある。それが、子どもが少ないとほんとに育つのかという観点も必要で、ニーズを考えながら、ある程度の集団を確保できるのかを考える必要がある。

出生数が減っている状況の説明もあったが、想定よりも7年早いというのが我々の分析。

幼稚園だけでなく、ほかの園でも子どもの数が減るなかで、どのように運営していくのか考える必要がある。幼稚園だけでなく、豊岡市全体としてどうあるべきか再度考えないといけない。

前倒しでいろんなことを検討しないといけない状況になりつつあると考えている。どういう方向性がいいのか、話し合いをさせてもらいながら、両者の意見を聞きながらすすめていきたい。

委員 園児数が減るということは実働する先生の数が減っていくこと、先生たちが園児たちを思って活動してもらっているのをひしひしと感じている。いい方向になるように進めていただきたい。

委員 先月、齋藤知事と話す機会があった。この数年が、少子化を押しとどめる最後のチャンスだと言われた。国の動きも子育てに焦点を当てていて、そこにお金にかけていて、どう使うかは秋以降でないとはっきりしない。こども家庭庁



ができたところでなかなか兵庫県に情報が降りてこない、という話だった。

豊岡市として、財政が厳しいかもしれないが、最初に会長が言われたように、子育てがしやすいまちにすることを前面に出して、あらゆるもの、お金や人も、そこに焦点を当てて、手厚くしてもらったら、今後、いろんなこと、経済や税収が、上向きするのではないか。

ここに居る職員は頑張ってもらっているが、さらにどんどんやってもらおうのがそれに資するのではないか。

うちの保育園に一時保育で、明石や神戸の人が、里がこっちなのでお願いしたいという話があって、厳しい状態ではあるができるだけ受けようとしている。よかったなどと喜んで帰ってもらったら、若いうちに出ていったその方でどこかで帰ってきてもらえるのではないかと思い、世話をしている。

私は保育や子育てで、豊岡市の人口流出や、人口減少、出生率の低下に歯止めをかける思いでやっている。

そのあたりに、豊岡市は焦点を当てて力を出していくときではないかと思っている。

会長 本当にそうだと思う。子どもは宝で、その宝をいかに増やしていくかが大事な焦点で、そのことに豊岡市がどれだけ本気になって取り組むか、もちろん今も本気でやってもらっているのだろうが、どう取り組むかが大事で、例えば今、豊岡市の人口が減少している、子どもの数が減少していることは、全国どこでも起きていること。そうならば、豊岡市の子どもの数が減っているのは世間的にはマイナスなことだが、日本の将来を考えたとき、子どもが減ったときにどう子育て支援をしていかないといけないのか、どう少人数保育をしていかないといけないのかということの先駆けを豊岡市ができるのではないか。

子育て支援に関するマイルストーンのようなものを、ここが軸となって何か作って、それが日本の発信になる可能性がある。

だからこそ、今、豊岡市の子育てというところに力を注ぐことが大事だろうと思いながら、話を聞いた。

委員 市民の願い、子育てしているお母さんたちの願いを、それに応じる、その思いに応えられる豊岡市であること。どんなまちづくりをしたいのかという構想を、若い世代からぐっと吸い上げて欲しい。

先ほどアイティの話もあったが、今は居場所がキーワード。豊岡市は広いので遠くの人にはアイティに行きにくい。日高町だったら、日高町にそんな場所、自由に遊べる場所があったらいいなど。

地域のなかでも、いまでは社会福祉協議会で、交流サロンというものがこの地域でも立ち上がったが、この交流サロンをお年寄りだけが対象でなくて子育て世代を持ってくるとか、何か自分たちの地域でできること、今までどおりでないことを促していける施策ができればもっと素敵な市になるのでは。

市民ひとりひとり、困っている人たちがどんな市でありたいという声を吸い上げてほしい。

<p>会長</p>	<p>私のイメージだが、豊岡市がディズニーランドのような形ができたらいいなと思っている。ディズニーランドは、入口はひとつだけ、中央にシンデレラ城があって、その中心からいろいろなところに波及していく。しかも、いろいろなものがあるがそれぞれが邪魔しない。それぞれが融合されている仕組みが凄い。</p> <p>入って左から時間軸になっている。入って左側が過去になっていて、そして奥に行くと現在とファンタジーがあって、右側にスペースマウンテンがある未来になっている。時間軸が違うのに邪魔しない。まちの作り方を考えるときのひとつの示唆になるのではないかと思うと、今、豊岡市も考えていかないといけないと改めて思った。</p> <p>ほかにあるか。</p> <p>時間もあるので、意見交換を終わりたい。</p>
<p>8 その他 (1) 次回の 会議日程 事務局</p> <p>(2)その他 会長</p>	<p>次回の開催は、第3期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査が流動的でもあり、改めて連絡させていただく。</p> <p>委員のメールアドレスを集めているので、速報を流したい。</p> <p>その他、全体をとおして何かあるか。 (特になし)</p> <p>これを持って本日の会議を終了させていただく。</p>
<p>9 閉会</p>	<p>副会長あいさつ</p>